

令和7年(2025年)5月9日

報道機関各社 様

## 「札幌市青少年山の家」浴室におけるレジオネラ属菌の検出 および浴室使用中止の対応の遅れについて

札幌市青少年山の家(以下「施設」という。)女子浴室シャワーにおいて、2025年1月31日(金)に実施した水質検査の結果、レジオネラ属菌が検出されていたものの、5月7日(水)まで当該浴室が使用されていた事案が発生しました。ご迷惑をお掛けした皆さまに深くお詫びし、今後このようなことがないように再発防止に努めてまいります。

なお、現時点で施設利用者から健康被害の報告や相談は受けておりません。

### 1 概要

1月31日(金)に実施した水質検査において女子浴室シャワーから基準値を上回るレジオネラ属菌が検出されたとの結果が2月28日(金)に、検査を実施した事業者から施設へ文書により通知された。しかし、施設側で当該文書の内容を見落とし、5月8日(木)にあらためて連絡を受けるまで、レジオネラ属菌が検出された浴室の使用が行われていたもの。

5月8日(木)に連絡を受けた後、ただちに女子浴室の使用を中止し、市保健所による立入調査を受けた。

### 2 通知文の見落としの原因

通知文の内容確認は担当者が行っており、組織的な確認体制が不十分であった。

### 3 今後の対応

水質検査実施日の14日前となる1月17日(金)から浴室の利用を中止した前日5月7日(水)までの利用者へ連絡して健康状態の確認を進めるとともに、施設ホームページにて健康状態に不安がある施設利用者に向けた相談の呼び掛けを行う。

### 4 期間中の利用団体数

総数	利用団体数	
	小・中学校数	その他団体数
50 団体	20 団体	30 団体

### 5 再発防止策

今後、検査結果の書類を受理する際は、担当者のみならず上司も含めた組織的な確認体制を構築する。

<参考：札幌市青少年山の家について>

青少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活や野外活動などを通じて創造性と豊かな心を育み、心身ともに健全でたくましく生きる青少年の育成を図ることを目的として、1989年9月に設置。主に市内小中学校の宿泊学習等の受け入れ先となっている。

【施設概要】

所在地	札幌市南区滝野 247 番地
利用対象	・小学校、中学校、高校 ・上記以外の学校・青少年団体および社会教育関係・企業等の一般団体
定員数	400 人（最大宿泊可能人数）
年間利用者	約 67,000 人（2024 年度）

【本件に関する問い合わせ先】

札幌市青少年山の家 齊藤、佐々木

（指定管理者：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会）

電話： 591-0303

【札幌市青少年山の家所管部局】

札幌市教育委員会総務部生涯学習推進課 新津、大久保

電話： 211-3872